

特別支援教育課便り

教職員・児童生徒・保護者を応援します！

No.128

平成28年3月8日発行
特別支援教育課 指導班

サポート

写真で綴る冬の地域行事参加

まだまだ寒い日が続いているが、三寒四温を繰り返し、季節は少しずつ春へと向かっています。特別支援学校では、寒さに負けず冬の地域行事に積極的に参加しました。秋田の冬をたっぷり満喫した児童生徒の様子を紹介します。

「犬っこまつり」 稻川養護学校

平成28年2月13日（土）



お堂っこに熱心に手を合わせお祈りしている小学部の児童たち

中学部の生徒代表が商店街のミニお堂っこ作りのお手伝い



高等部の生徒は商店街の「サンサンプラザ」内で作業学習製品販売

「横手ぼんでん」 横手養護学校

平成28年2月17日（水）



街中を練り歩き旭岡山神社にぼんでんを奉納



おもてなしの気持ちを込め、熱々のおしるこ作り

平成28年2月10日（水）

「上桧木内紙風船」
「火振りかまくら」
せんぼく分教室



4月開校
「大曲支援学校せんぼく校」
校舎が描かれた紙風船



角館高校定時制課程の
生徒のみなさんと一緒に
ミニかまくら作り



角館観光協会の方の協力を得
ての炭俵作り

「比内とりの市」
比内養護学校

平成28年1月23日（土）～24日（日）



比養オリジナルカレーたんぽ。ゆる
キャラも応援し、2日間とも完売！



比養絆舞桜と地元よさこいチーム「鳳翔華」
さんとの「弥栄秋田」のコラボレーション

応援しています



第9回国際アビリンピック出場

平成28年3月23日～26日にフランスで開催される「国際アビリンピック」に出場する天王みどり学園高等部3年生 佐々木優哉さんが、遠藤邦子校長と由利和也教諭とともに知事を表敬訪問しました。ぜひ頑張ってください。



～他県人事交流で北海道に勤務されている
京屋敦先生から～

北海道より学校紹介

北海道小樽高等支援学校
教諭 京屋 敦

マイナス続きの気温、一晩に40センチ積もる雪、その雪の軽さと、北海道に来て初めての冬を迎えて、また、秋田との違いを感じています。

私が勤務している小樽高等支援学校は、高等部単置（たんち）校として、職業教育を目指した知的障がい高等支援学校です。

平成21年度に開校した新しい学校で、6学科の職業学科があります。学年だけの活動だけではなく、各学科ごとの活動もあります。週13時間の作業学習では、学科ごとに特色のある指導が行われています。

私は、福祉サービス科2年B組の担任をしています。2学年では、担任は作業学習の主担当と分けて学習に当たっています。そのため、私は経験のある先生達に教えてもらいながら日々です。

福祉サービス科では、「介護」、「接客」、「清掃」、「調理」の学習を通して、社会人・職業人に必要な力を育てることを目指しています。2学年の後半からは、福祉グループ（介護職員初任者研修の受講）とサービスグループ（カフェポッポッリーの営業など）を生徒が選択し別れて学習を行っています。介護職員初任者研修、常設カフェは、北海道でも他校にはない取組として注目されています。

学校の近く、地域の事業所などに協力していただき、就業体験も行っています。実習することで、自分の良さや課題を確認して、普段の学習に生かす事をねらいとしています。

体験先は、多種にわたっています。町内会館やゴルフ場の清掃、スーパーやコンビニでは、バッカヤードでの作業、品出し、清掃、商品整理などに取り組みます。福祉科ならではの老人施設では、清掃や利用者さんとのコミュニケーションなども行います。

就業体験は、作業学習の時間内（9：30～12：00）で行います。期間も2～3日と現場実習ほど長期間ではありませんが、実際の現場の緊張感、やり遂げた後の達成感を味わうことができます。

また、生徒達は、実習と学校生活を切り離して考えがちですが、普段の学習や行動にも生かしていくように反省を行っています。就業体験では、すぐに振り返りができるので、自分の良さや課題を整理し、学習に生かすことができます。

まだまだ、環境に慣れようと勉強の毎日ですが、貴重な経験をしていることを実感しています。北海道での様々な違いや驚きを秋田へのお土産として持ち帰りたいと考えています。



お知らせ

平成28年3月、次の冊子やリーフレットが発行されます。どうぞご活用ください。

「病気の子どもへの支援ガイド」 「特別支援学校の医療的ケア実施の手引」

訪問教育の記録

「また来てねせんせい」

病気のために日常的に支援を必要としている病弱・身体虚弱の子どもたちへの教育支援についてまとめました。

学校看護師による「医療的ケア」の校内支援体制の構築、関係機関との連携、実施の手続き等について記載しました。

「訪問教育」の実践記録集です。今回は「個々のニーズに応じた授業づくり～教材・教具の工夫と活用～」をテーマにまとめました。



雪国秋田、冬のスポーツを十分に生かした
日々の体力づくり
地域の施設を活用した
本格「絆カフェ」、「絆ショップ」

比内養護学校たかのす分校は、教室の目の前のグラウンドを活用して、小学部からクロスカントリースキーに日々取り組んでおり、年数回は近隣の起伏のある本格コースにも出かけ、元全日本級の選手から指導してもらっています。平成19年度からは、北欧の杜で開催されている「県民歩くスキーのつどい」のレースにも参加しており、体力に応じて1km～8kmの部門に挑戦しています。この競技は、歩くことから滑走まで、体力と技能に応じて、持久力だけでなく、身体のバランスや巧緻性、そして集中力を含め精神力にも大変効果があり、地域と自然を最大限生かした体育活動となっています。



【分校周回コースをみんなで】



【元全日本選手からの指導】



【大会で8km部門完走】

地元のコーヒーショップの店主から、コーヒーの入れ方、接客を学び、地域行事で「絆カフェ」を展開しており、特に、近くの北秋田市民病院での活動は人気があり、喫茶と同時に「絆ショップ」も開き、作業製品販売もしています。今後も、様々な機会を通じた地域活動に期待します。

頑張れ
羽ばたけ
若鷹魂

